

## 第一生命経済研究所のホームページご紹介

アドレス：<http://group.dai-ichi-life.co.jp/cgi-bin/dlri/top.cgi>（「第一生命経済研究所」で検索可能）  
ホームページに登場したレポートテーマの一例をご紹介します。このほか数多くの詳細な経済分析レポートが掲載されていますので、経済研レポートと合わせてご活用ください。

～経済見通しのコンセンサス、わが国財政の維持可能性などを分析しています。

2010/5/26 「民間調査機関の経済見通し～景気はすでに自律的回復の成否を問う段階に～」

2010/5/17 「日本の財政の持続可能性～税収増とともに歳出入一体の財政改革が求められる～」

掲載カテゴリ：日本経済分析チームによる「日本経済の羅針盤」

～激動する世界の金融市場動向を毎週お知らせします。

2010/6/14 「Market Watching Weekly Market Report」（毎週月曜日配信）

掲載カテゴリ：畠峰義清の「マーケットウォッチング」

～外需主導の経済成長が続く中で、国内で投資が滞り産業の弱体化が進む懸念を指摘しています。

2010/6/3 「外需拡大に隠れた設備投資の問題～重視すべき競争力確保の視点～」

掲載カテゴリ：熊野英生の「金融市場の謎を解く」

～団塊の世代の消費行動から予想される効果、影響などについて分析しています。

2010/5/27 「団塊世代のリタイアと2012年問題～消費市場への影響と社会保障財政逼迫のインパクト～」

掲載カテゴリ：永濱利廣の「エコノミック・フォーカス」

～ユーロ問題に揺れる欧州経済、注目の新興国経済について解説しています。

2010/5/24 「ユーロ相場の割高感をめぐる議論～総悲観は買いの好機か？～」

2010/5/21 「アジア短中期経済見通し（2010年5月版）」

2010/5/13 「ユーロ問題で浮上する新興国の課題～為替レートの柔軟性向上は過剰流動性解消の鍵を握る」

掲載カテゴリ：桂畑誠治・田中理の「欧米経済を探る」、「アジア・新興諸国経済」

### 編集後記

ギリシャ危機がユーロ加盟国の財政問題へ、そして景気や金融機関の信用不安へと連想ゲームのように市場を駆けめぐった。世界はつい最近、リーマン・ショックを経験したばかりである。為替や株価の激しい値動きは、「また今度も・・・」「まだまだ・・・」と、不均衡是正の動きが続いていることを思い起こさせる。

しかし、一度危機に直面した学習効果は、その記憶が新しいほど行動に反映されやすい。かつての日本の資産バブル崩壊の経験は、二十年近く経って各国の世界金融危機対応に活かされた。それから二年、失敗の教訓も損失の痛みも記憶はまだ鮮明だ。投資資金を引き揚げてリスク回避に走る投資家のあわただしい動きは、リーマン・ショックの経験が決断を早めていることをうかがわせる。同時にパニックや市場の混乱で傷口を大きくしないための知恵も上手く使われていることを期待したい。（H. U）